

氏名	黒田 真由美	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	緩和ケア、地域看護学、看護教育				
学位	修士(看護学)				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 2017年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士前期課程				
経歴	2017年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本在宅ケア学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
(2) 論文					
1 該当なし					
(3) 学会発表					
1 看護基礎教育の在宅看護領域における生と死を考える教育の現状	共著	第48回日本看護学会-在宅看護-学術集会、つくば市	○黒田真由美、川畑貴美子、常盤文枝	2017.9	
2 看護基礎教育における人の生と死に関する教育の現状-大学と専門学校の比較-	共著	第37回日本看護科学学会学術集会、仙台市	○黒田真由美、川畑貴美子、常盤文枝	2017.12	
(4) その他					
1 該当なし					
2. 競争的資金等の研究					
競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	地域包括緩和ケアの充実に向けた家族への教育支援プログラムの開発(研究分担者)			2016.4~2019.3	
2 埼玉県立大学奨励研究 新任者向けC研究	看護基礎教育における「望ましい死」を支える教育プログラム開発に向けた基礎的研究			2017.5~2018.1	
3. 教育業績					
講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
(1) 講義					
1 在宅看護学(第13回、第14回)	2017.7	訪問看護を必要とする子どもとその家族がイメージできるようにDVDを活用した。在宅療養を支える援助技術についても、絵や写真を用い、具体的な看護の役割を伝えるように工夫した。			
2 認定看護師教育課程 対人関係	2017.9.12	緩和ケア認定看護師教育課程の受講生に対し、ナースのためのアサーションの講義と、臨床で起こりそうな場面を設定しグループワークを実施した。			
3 公衆衛生看護展開論Ⅰ(精神保健)	2017.12~2018.1	地域で生活する精神疾患を抱える人々をイメージできるように、映像と事例を使用し、精神保健福祉相談の特徴、関連施策、保健師の役割への理解を深めた。			
(2) 演習					
1 該当なし					
(3) 実習					
1 公衆衛生看護学実習	2017.5~6	地区踏査による地区診断が深化し、健康課題解決に向けた公衆衛生看護の役割への理解が深まるよう、実習指導者と連携しながら指導を行った。			
2 総合実習	2017.7	学生個々の課題達成に向け、実習施設で学んだことをグループディスカッションして学びが深まるように支援した。			
3 IPW実習	2017.10	教員ファシリテーターとして、学生個々の専門性を発揮した協働関係を築き、対象者のニーズや地域特性を理解できるように支援した。			
4 在宅看護学実習	2017.11~12	8週間に渡り、訪問看護ステーションと地域包括支援センターの実習を担当し、療養者の生活を知り、看護の役割を考えられるように指導した。			

(4) 論文指導			
1	該当なし		
(5) その他			
1	該当なし		
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
	開催年月		
1	子ども大学こしがや・まつぶし	越谷市・松伏町、 文教大学、越谷青年 会議所、NPO チャオとの連携事業	はてな学? 「ぴかぴかの手! それってなあに? 病気のよぼうは手洗いから」
2	保健師の本質を究める パート1	埼玉県立大学地 域産学連携セン ター 専門職講座	卒業生の保健師を対象とした専門職研修会に て、保健師としての今後自己研鑽したいこと について、グループディスカッションを行った。
	2017.9.23		
	2017.12.2		
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	総務委員(補佐)		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		